

食事を通じて、職員の専門的知識、スキルを地域住民に開放し、役立てる。

取り組み内容のポイント

高齢化社会に向けて、社会福祉法人として地域に向け、介護の専門職として、情報発信していく。

「口腔ケア」「食事介助」「形態別食事の説明・試食会」等の勉強会の実施。

神奈川県 社会福祉法人

中心会

〒243-0431 神奈川県海老名市上今泉4-7-1

TEL: 046-231-7152 FAX: 046-231-5449

◆法人設立年

昭和28年

◆法人実施事業

①経営施設数合計：5施設

②経営施設・事業【種別毎の数】：

特別養護老人ホーム…4、訪問介護…1、短期入所…3、通所介護…3、養護老人ホーム…1、養護短期入所…1、訪問入浴…1、居宅介護支援…2、地域包括…2、児童養護施設…1

◆法人の理念・経営方針

私たちは、私たちが活動する地域社会において、自分や自分の大切な人が抱える心身の障害や生活環境上の問題によって、様々な「不自由」「生きにくさ」を現に経験し、または経験するだろうリスクを有する人々に対して、適切な専門性の担保された養護、介護、及びこれに関連する諸サービスを提供することを通じて、誰もが自分の存在に誇りを持ち、生きる喜びを享受するとともに、自分の家族や隣人の存在を素直に喜ぶことができる社会づくりに貢献します。

◆取り組みの定款・事業計画上の位置づけ

①定款記載の有無：記載していない

②事業報告・計画への記載：記載している

◆取り組みを実施している施設の概要

【施設名】

中心荘第一老人ホーム

中心荘第二老人ホーム

【施設種別及び利用定員】

中心荘第一老人ホーム：

特別養護老人ホーム（定員50名）

中心荘第二老人ホーム：

特別養護老人ホーム（定員50名）

短期入所生活介護（定員5名）

認知症対応型通所介護（定員12名）

◆活動内容

◇活動開始年：2011年1月

◇活動の対象者：地域住民

◇活動の頻度・時間：

・1回/年の実施、2～3時間

（開始年は1回とし、参加状況により開催頻度を検討していく）

◆活動実施の背景、実施にいたった理由

事業所の22年度の品質方針として、

地域との連携

⇒中心荘のファシリティー（設備・備品）を広域の方の有効活用に供する。

また、職員が保持している専門職のスキル・知識を事業所だけに留めず地域に開放、役立てていく。

を掲げた。

そのため、地域の方を対象として、わかりやすく、参加しやすいよう「お年寄りの食事サポート教室」として実施した。

◆実施内容

「お年寄りの食事サポート教室」として

①看護師による施設で実施している食前のお口のマッサージや体操、その必要についての説明と実演。資料配布。

②介護課職員による「食事介助方法」について、実演を加えての講習会の実施。資料配布。

③施設で提供している食事の「形態」についての説明と試食、簡単にできる介護食の実演、施設で提供している「ソフト食」の紹介。

④質疑応答

◆活動効果（利用者や職員、地域などの反応、影響）

参加された方からは、説明、実演ともわかりやすかった、これから自分自身にも関わってくることなのでとの反応が多かった。実際に形態別の食事を試食して、実体験して頂くこともでき「刻み」「超刻み」形態、一口は召しあがっていたが、二口目に進まれる方が少なかった。

水分もトロミ付きのものを飲んでいただき、飲み込みの感じなども体験されていた。

最後に厨房の調理師にも参加してもらい、質疑応答の時間を作ることにより、参加者、職員と和気あいあいとした雰囲気の中かで実施することができた。

最後は本来の目的と逸れてしまう結果だったが、雰囲気の

良い状態で実施できた。

初めての試みで、何が必要とされているのか手探り状態ではあったが、今回の実施で僅かではあるが地域の方々のニーズを知ることができた。

それと同時に、自分達のプレゼン能力不足を感じた。

◆今後の展開

最低、1回/年実施とし、参加人数により実施回数を見直していく。

今回、参加者が少なかったため、集客数の確保を図るため、広報活動を見直していく。

(ポスターを掲示するだけでなく、自治会の回覧に入れてもらう等)

地域の方が望まれていることを、コミセン祭り等から聞き取り、盛り込んで行く。

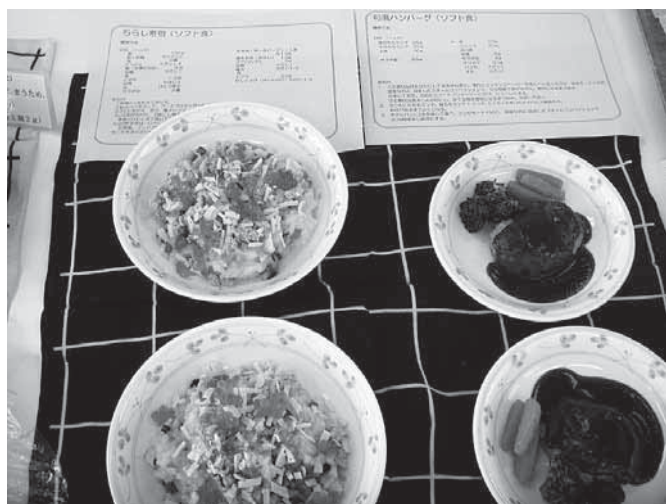
◆主な経費や財源及び人員等

※年間あたり

| 主な経費 | 経費概算額 | 主な財源 | 財源概算額 |
|----------|---------|-------|---------|
| 配布資料等材料費 | 5,000円 | 法人負担額 | 10,000円 |
| 試作品食費 | 2,000円 | | |
| その他雑費 | 3,000円 | | |
| <合計> | 10,000円 | <合計> | 10,000円 |

- ・ 取り組みに係わった職員数 7名
(職種等：看護師、介護福祉士、生活相談員、栄養士)
- ・ 取り組みを実施している施設の事業規模
(平成22年度決算の事業活動収入)
- ・ 第一 217,202千円
- ・ 第二 214,632千円

※法人全体の事業規模(同上) 1,867,384千円



ソフト食の紹介



食事介助について説明



形態別食事の説明



お口のマッサージや体操について説明